

2018年1月18日

新多用途ヘリコプター用整備工場が完成 ～ヘリコプター整備体制を年間130機に拡大～

SUBARUは、航空宇宙カンパニー宇都宮製作所(栃木県宇都宮市)の南工場内に、「新多用途ヘリコプター(陸上自衛隊UH-X^{*1})および民間機412EPI発展型機^{*2}」用の整備工場を建設し、本日1月18日に竣工式を行いました。

同カンパニーでは、多用途ヘリコプターUH-1Jを始めとする陸・海・空自衛隊向けの航空機や、海上保安庁、消防、警察、地方自治体向けヘリコプターなど、年間約100機の定期整備や修理改造を実施しています。今回新たな整備工場(建築面積約3,700㎡)を建設したことにより、約3割増の年間130機の整備体制を目指します。

これらの事業では、栃木県を始めとする国内外各企業と連携することによって、ヘリコプターの生産基盤を充実させ、航空機産業の振興に貢献します。

当社は、関東地域における航空機産業の拠点として、今後もお客様の信頼や地域の方々との連携を基に成長していきます。

*1:現在、陸上自衛隊で運用中の多用途ヘリコプターUH-1Jの後継機であり、量産機数は約150機が想定されています

*2:UH-Xとの共通プラットフォームの機体であり、全世界に向けた製造、販売を行っていく予定です



整備工場 外観



竣工式